

創業100周年を迎えて

確かな技術でつぎの100年へ

地球の未来を築く社会イノベーションへの決意

日立製作所 執行役会長 兼 執行役社長

川村 隆



平素より「日立評論」をご愛読いただき、心より御礼申し上げます。本年2010年は、日立グループにとって創業100周年という大きな節目となります。その年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

明治末期、若き技術者であった創業社長の小平浪平は、将来を約束された栄達の道をみずから断ち、日立鉱山に入り、その一角に建てられた小さな木造の修理小屋で、5人の職工と共に電動機や変圧器の修理を開始しました。当時の世界は、第二次産業革命の最中にあり、すでに電動機や内燃機関が実用化されていた欧米諸国に対し、日本は、日清・日露戦争を乗り越えようやく民生分野での殖産興業に着手したばかり。工業技術の差は歴然としており、修理していた機器のほとんどは外国製でした。

「欧米の技術に依存していたのでは日本はいつまでも自立できない。優れた発電機や電動機をみずからの手で作らなければならない」と、「自主技術」への思いを強めた小平創業社長は、日立鉱山の電力を賄う石岡発電所の建設に携わる傍ら、モータの開発に力を尽くします。

そして1910（明治43）年3月、ついに念願であった5馬力モータを完成。同年11月、日立鉱山にほど近いおよそ4,000坪の土地に、電動機器の修理と国産モータの製造を行う新工場を建設します。28歳の若さにして日本の機械工業発展への貢献を志した小平浪平創業社長が36歳の時に設立したベンチャー会社として、ここから日立グループの歴史が本格的に始まりました。

100年後の今日、日本の工業技術は世界をリードするまでに進歩し、世界全体の工業もまた飛躍的に発展しました。反面、地球温暖化、資源・エネルギーの枯渇、世界的な地

域間格差，そして世界同時不況と，地球社会は幾多の課題に直面しています。日立グループは21世紀を「環境と情報とエネルギーの世紀」と位置づけ，地球社会が直面するこれら諸問題の解決に貢献する企業活動を推進しています。その大きな柱が，事業の重心を「社会イノベーション事業」へとシフトすることです。

社会イノベーション事業は，電力，情報・通信，環境・産業・交通，都市開発，健康など，社会を24時間365日支え続ける基幹システム群をベースに，それらを可能とする高機能材料，キーデバイス，キーコンポーネント，サービスなどから成ります。それぞれの分野を徹底的に強化するとともに，組み合わせ，融合させることで，21世紀にふさわしい高度な社会基盤の創造をめざします。

日立グループはこれまで，社会インフラを担うお客様との多くの協創の中で，幅広い分野で技術を磨いてきました。それらの技術と，最先端の高信頼な情報・通信技術を融合させることにより，経済発展と持続可能な低炭素社会の実現を両立できる付加価値の高い社会インフラの構築に挑みます。例えば，再生可能エネルギーの有効活用と電力の安定供給を実現する21世紀のエネルギーインフラであるスマートグリッド，より安全・安心で快適な移動や環境負荷の少ない物流を可能にする次世代交通システムなど，情報・通信システムと電力・電機システムの融合が，こうした新たなインフラの実用化を可能にします。

新興地域では豊かな社会の構築に向けた基盤整備が進み，先進国では低炭素社会へのリノベーションが求められるなど，社会インフラへのニーズはグローバルな視点から見ても急速に高まっています。環境に配慮しながら，安全で信頼できる社会インフラこそが，世界中で待ち望まれて

いるのです。日立グループは，真のグローバル企業として，日本国内での実績を踏まえ，広く海外で社会イノベーション事業を強化し，世界各国の社会の発展に貢献することをめざしています。

また，地球環境問題解決への貢献という，企業にとって重要な社会的責任を果たすために，原子力発電，高効率な石炭火力発電，再生可能エネルギー，環境配慮型データセンターなどの環境・省エネルギー対応技術の開発に注力します。高性能なモータやインバータ，高信頼性リチウムイオン電池など，低炭素社会のキーデバイスも強化し，「環境と情報とエネルギーの世紀」を支えてまいります。

このような技術を通じた社会的課題の解決への貢献，それこそが日立グループの理念です。

100年前，みずから手で独創的技術を開発し，国産技術による日本の工業化の確立をめざした小平創業社長がその胸に抱いていたのは，「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」という強い使命感でした。以来，日立グループは，時代や社会環境の変化に合わせて組織や事業の変革を行いながら，その熱い思いは変わることのない創業の理念として連綿と受け継ぎ，守り続けてまいりました。

5馬力モータを礎として100年に及ぶ日立技術の歩みを，次なる100年へ，地球社会の100年後へとつなげていくこと，それが，今，101年目に立つ私たちに与えられた大切な使命です。コーポレートステートメント「Inspire the Next」に基づき，お客様との協創，そして企業や組織の枠を越えた幅広い協創によって，次なる時代に息吹を与え続けるイノベーションを加速させ，日立グループは地球社会の未来へ貢献してまいります。